

SHIN CLUB 297

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「神宮前3丁目プロジェクト」撮影：アック東京

今月のトーク/monthly talk

人々の流れを呼び込む

日本国内はもとより、世界中の若者や観光客でにぎわう「原宿」。今や観光地としても有名な竹下通りを抜け、たくさんの人たちが行き交う明治通りから、1本奥に入った原宿通り内の路地に計画されたのが、今回ご紹介する建物「神宮前3丁目プロジェクト」です。設計を担当したのは、集合住宅のほか、数多くのテナントビルを手がけるAIUEO STUDIO 株式会社の佐々木純也氏。抜け道のようにして使われている人の流れのまばらな路地に、にぎわいと活気をもたらす建物を目指しました。

「計画地周辺はあまり人のいないところだったので、路地の前を通りかかった人たちが、建物のあるT字路を振り向いたときに、自然と魅力を感じてもらえる外観の形状と、通りから連なって人々の流れを呼び込めるような動線を考えました」と佐々木純也氏。建物を斜めに切り取ることで、見る角度によってさまざまな表情が生まれ、「この建物はちょっと気になる、おもしろそうだな」と、道行く人々の視覚に訴える形に仕上げることができたといいます。

道路からセットバックした1階は、ショップや飲食店などのテナントが入ることを想定したガラス張りとなっています。室内はファサード中央付近にある丸柱以外には、柱も梁もない広々とした空間。路地との連続性が奥行き感をもたらします。2階はさらに角度をつけてセットバックし、「どういったショップがあるのだろうか？」と、訪れた人の期待感を高めます。外部と連続するテラスは、室内に明るさと広がりをもたらし、さまざまなシーンで

の利用を誘発。2階から2m近く道路側にせり出した、大きな開口部を持つ3階は斜めに切り取られ、その迫力のある外観は、大通りを歩く人々の視線を集める役割を果たします。建物の奥にある階段から2階に上がってきた人は、「3階は、一体どうなっているのだろうか？」と、さらなる期待を胸に抱きます。そして、一步、また一步とこのテナントに引き込まれていくのです。

「事業主が開催したコンペティションで私たちが選ばれたことから、本格的にこのプロジェクトはスタートしました。最初のボリュームプランは普通の四角い箱であり、容積率や占有面積など、事業計画での基本的な条件を守りつつ、この立地に対して、どのような建物の見え方や機能が求められるのかを検討していきました。ある程度の案が固まるまで1か月半近くはかかったと思います。それでも、最初に提出させていただいたコンペ案から設計を大きく変更することはなく、設計から施工へとスムーズにつながることができました」（佐々木氏）

施工会社を選定する際、同エリアでの施工経験豊富な当社を1番にご提案していただいたそうで、「辰さんお得意なエリアということもあり、真っ先に事業主へ提案させていただきました。私としても一緒にお仕事ができ、とても嬉しく思います」と、佐々木氏は語ります。

青山・神宮前エリアの辰のショールームに、新たなにぎわいを生み出す建物が、またひとつ誕生しました。

神宮前3丁目プロジェクト

高い開放性とインパクトのある建築を

計画地のエリアには、美容院やネイルサロンなどが多い。そのため建物のテナントとして、1階はショップや飲食店が入ることを想定し、ガラス張りのファサードとした。2階と3階は壁を斜めに切ることによって、原宿通りからT字路を振り向いた人の視線を受け止める効果をねらった。通りから見たときの建物のインパクト感は、事業主も強く意識されていた点であり、設計の段階から何度も議論を重ねて、ふさわしい形のあり方を模索した。壁を斜めに切り取った効果は外観だけでなく、室内から外部を眺めたときの印象にも影響を与える。前方が狭い通りのため、向かい側の建物と目線が合うのは避けられないが、視線が斜めに抜けることで、多少なりとも奥行き感を得ることができた。建物の容積を確保するため、高さ制限は天空率を使用して緩和し、高度斜線規制や日影規制などのさまざまな条件を考慮しながら、ぎりぎりのところまで計画した。

建物の構造は、限られた面積のなかで空間の最大化を図るため、一般的なRC造ではなくWRC造を採用している。これにより柱や梁型の大部分を削除できた。さらにヴォイドスラブとすることで壁梁もなくし、スラブスパンを大きく確保。その結果、開放感のある空間が実現できた。1階室内にある、上階の壁荷重を支える唯一の柱は、角のない丸柱にすることで広々とした空間になじませている。

ガラス張りのファサードの魅力をさらに引き立たせるため、外壁は左官仕上げとした。内部のコンクリートには誘発目地を入れており、建物の品質と性能を確保。目地の上にはサンドエレガントを塗り、さらに目地とサッシの方立てを手すりの支柱とそろえることで、誘発目地の存在を意識させない仕上がりとした。ほかにも雨で濡れないように、手すりの部分の天板に笠木を取り付けるなど、建物の性能とデザインに対するこだわりの両面を追求している。

この建物が、原宿通りから人々の流れを呼び込み、この地域をさらに盛り上げていく建築になることを期待している。

(AIUEO STUDIO / 佐々木純也氏 談)



建物夕景



見る角度によって様々な表情が見える



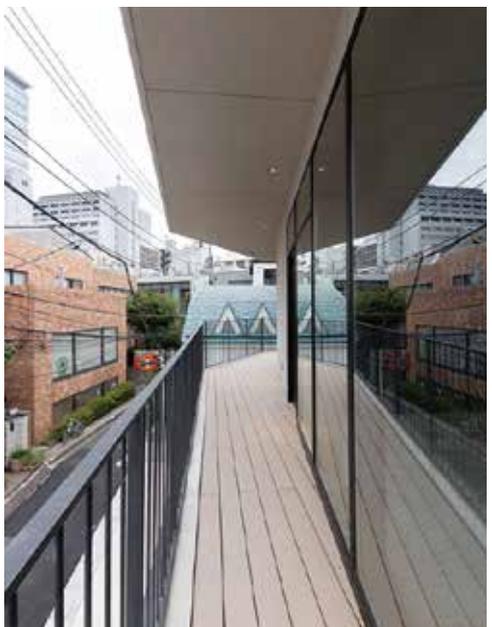
エントランス



こだわりの縁



T字路からの建物俯瞰。ふと視線を引きつけるファサード



室内に明るさと広がりをもたらすテラス



人々の興味を引きつけ、上階へと誘う階段室



1階テナント内部。壁梁のない広々とした空間



2階テナント内部

所在地: 東京都渋谷区神宮前3-223-12
 構造: RC造
 規模: 地上3階
 用途: スポーツ練習場・事務所
 設計・監理: AIUEO STUDIO 株式会社 / 佐々木 純也
 竣工: 2024年9月
 施工担当: 村山・福島 / 村山チーム
 撮影: アック東京

Junya Sasaki

今月は「神宮前3丁目プロジェクト」の設計者、AIUEO STUDIO 株式会社の佐々木純也氏にお話を伺いました。

—「AIUEO STUDIO」はユニークな社名だと思います。名前の由来は何ですか？

佐々木:「アーキテクチャー (architecture)・インテリア (interior)・ユニット (unit)・エクステリア (exterior)・オブジェクト (objectivity)」。社名にいろいろな意味を込めたいと考えていた際に、これらの単語を並べたときの頭文字が日本語のアイウエオ順になっており、覚えやすい名前だと思って決めました。会社の設立は、2010年。当時、念のためこの社名でインターネット検索をしてみたところ、ほかに例がなく、しかもわかりやすいネーミングでちょうど良いと感じました。

—佐々木さんが会社を立ち上げようと思われたきっかけは？

佐々木:もともと私はディベロッパー業界で、10年以上働いてきました。そこではまさに設計者やデザイナーのような立ち位置で、照明計画や外観デザイン、エントランスなどを自分たちで考え、それらを設計事務所に発注していました。けれども、なかなかこちらの期待通りにいかないケースが多く、それならば「むしろ自分でやってみよう」と思ったのがきっかけです。その後、紆余曲折を経て会社の設立に至りました。

—学生のときから建築やデザイン関係の仕事に興味があったのでしょうか。

佐々木:小さいころから絵を描くのが好きでしたね。もちろん建物にも興味があって、ごく自然に建築を目指していった感じです。また、建築デザインと同じくらいに料理も好きでした。周りを見渡してみても、料理を得意とする設計者は実際に多く、この2つはとても相性が良いと感じています。今でもよく料理をしますよ。私たちの会社では年に数回、事務所で飲み会をおこなう機会がありますが、その際には自分たちで食事を作っているほか、社内のイベントで料理対決をおこなったことも。キッチンスタジオを借り、「イタリア料理」というテーマのなかで、3チームに分かれて腕を競ったんです。もちろん私もプレーヤーとして参加。審査員は、監理部の年配社員の方に務めてもらいました。料理作りは、建築のプロセスとよく似ています。素材を吟味して調理をし、そこに味つけを加えて、きれいに盛りつける。それら一連のプロセスを、いかに手際良くデザインしていくかが腕の見せどころになります。完成した料理をよりおいしく見せるには、照明の選択や光の当て方にも気を配らなければなりません。「創作」という点でまさに両者はつながっており、料理から学べることは少なくないと思っています。日頃めったにキッチンに立つことのないスタッフたちにも、「料理をした方がいいよ」と呼びかけているところです。私自身、料理が上手なわけではありませんが(笑)



—建築と料理とのつながりは新鮮で、とてもおもしろいと思いました。設計を進めていくうえで意識していることなどはありますか。

佐々木:2週間に1回、私たちは社内全体でミーティングをおこなっています。そのなかで私はよく、お客様に信頼・信用していただくことが大事であり、そのためにはクオリティの高い図面を提供していかなければならないと話しています。設計から着工まで半年ぐらいのスパンがありますので、現場で図面に修正を加えるケースもないわけではありません。しかし、あまりにも変更が頻繁に発生してしまうと、工事に支障をきたしてしまうおそれがあります。現場の人たちに迷惑をかけないためにも、設計の段階でしっかりとした図面を完成させることが大切。「建て主様や発注者様、施工会社のみならずの信頼・信用を得るには、まずはきちんとした図面を描きましょう」と事務所の若手スタッフたちによく伝えています。そうした積み重ねが、次の仕事にもつながっていきますから。

—精度の高い設計図と我々の施工図によって、建物品質は左右されますよね。今後は、こういった建築を手がけていきたいとお考えですか。

佐々木:これまでは集合住宅やテナントビルを多く手がけてきましたが、今後はさらに幅広いビルディングタイプに取り組んでいきたいと考えていますね。今、一番興味があるのは駅舎です。駅から街ができていくのを想像すると、わくわくします。きれいな駅ができると、周りに住む人たちの意識も変わって、街全体が良い方向に変化していくのではないのでしょうか。そうした「街の顔」となる駅舎を担当してみたいと思いますね。ほかに図書館などの公共施設や、幼稚園や保育園といった建物にも関心があります。リゾートホテルもおもしろそうですね。手がけてみたいものはたくさんありますので、そういった設計を担当できる機会があれば、意欲的に挑戦していくつもりです。

—今後の展開が楽しみです。本日はありがとうございました。

AIUEO STUDIO 株式会社

意匠部	東京都渋谷区神宮前6丁目18-2-8F
構造部	東京都渋谷区神宮前6丁目18-2-7F
代表取締役	佐々木 純也
設立	2010年11月
WEB	http://www.aiueo-studio.com/
Instagram	@aiueostudio_official



TOPICS/INFORMATION

安全協力会 共催 辰和会 ゴルフコンペ 2024 秋 開催 — 豊里ゴルフクラブ —

11月16日(土)、毎年恒例の「安全協力会 共催 辰和会 ゴルフコンペ 2024 秋」が茨城県つくば市にある豊里ゴルフクラブで開催されました。



この日はあいにくの曇り空で、残念ながら秋晴れには恵まれませんでした。弊社社員、協力業者合わせて総勢 51 名が気持ち晴れやかに参加してのコンペとなりました。

代表の岩本、社外取締役 羽田による始球式の後、事前におこなわれた組み合わせに分かれ、IN コース・OUT コースともそれぞれスタート。

ゴルフ歴半世紀あまりの大ベテランから、本会をきっかけにゴルフを始めたビギナーまで、様々な顔ぶれのなかナイススイングを魅せるたび、周囲から歓声と拍手が上がりました。IN・OUT 全 18 ホール、紳士淑女のスポーツを楽しみます。



懇親会にて。代表 岩本の挨拶

コース終了後には懇親会と共に成績発表、上位入賞者には豪華景品が贈られました。今年の秋大会優勝を納めたのはネットスコア 70.00 で型枠工会社の株式会社三喜建設 代表取締役 齋藤 慎之介氏。惜しくも優勝を逃し、準優

勝となったのはネットスコア 73.60 でガラス工会社の玉屋硝子工業株式会社 代表取締役 松田一良氏という結果でした。松田氏に至っては、今年の春大会でも準優勝だっただけに、リベンジを果たせなかったのが心残りだったとか。



優勝した齋藤慎之介氏と準優勝の松田一良氏 ※向かって右側：齋藤氏 左側：松田氏

「スポーツの秋」として、毎年開催されている本会。新型コロナウイルスの感染拡大以降、三密を避けながら楽しめる娯楽として、若年世代におけるゴルフ人口が増加傾向にある昨今。弊社でも、今年入社の新入社員をはじめ、若い世代の大会参加が増え、より一層活気に溢れています。次回開催の春大会も心より楽しみにしています。



豊里ゴルフクラブにて

【豊里ゴルフクラブ】

- 住所：〒300-2615 茨城県つくば市大字田倉 5185 TEL：029-847-0011
- コース特徴 つくばの自然に囲まれた雄大なコースには、穏やかに変化するうなりとセパレートする自然の木々。戦略的に配置された美しい池の3つすべてを兼ね備えて、皆様をお待ちしています。



<https://www.toyosato-gc.jp/>

ZEN・関東建設協力会 工事分科会主催 池田建設・麦島建設 現場見学会を開催

11月21日(木)、ZEN・関東建設協力会 工事分科会主催の現場見学会が実施されました。



池田建設現場全景

「ZEN・関東建設協力会」は、ZENグループ各社のうち、関東に拠点を置いている株式会社麦島建設東京支店、池田建設株式会社、株式会社辰の3社と、その協力業者で結成された協力会です。この厳しい時代を乗り切るために、



朝礼会場での説明を受ける

会社の垣根を超えて「より良いもの」を「より早く」「お値打ちに」お客様に提供することを目的としています。

この日は、池田建設が手掛ける共同住宅と、麦島建設が手掛ける共同住宅の現場見学会を実施。他社の施工現場を



質疑などを交えながら場内を見学

同じ建設会社であっても、他社の現場を見て学べることはたくさんあります。切磋琢磨してより良い建物が建てられるよう、これからも勉強会を実施していきます。

見学することで、自分たちに足りないことや新たな発見、意見交換をおこなうことで、施工管理技術向上へと繋がります。

東京都大田区にて、RC造地上4階の世帯数80戸を超える共同住宅を手掛けている池田建設の現場では、弊社ではなかなか扱わない規模感だけあって、場内見学は皆興味津々。疑問や質問を随時担当所長へ投げ掛けている社員の姿が印象的でした。



施工図を見ながら納まりを確認

「ゼプト神宮前」新築工事 地鎮祭 11月30日(土)



閑静な住宅街に温かい空気が宿る住宅を、近隣様のご協力を賜りながら建築します。

構造 / 規模：SR造 / 地上3階
用途：長屋 (2戸)
設計：鈴木孝紀建築設計事務所
施工担当：村山・土屋 (村山チーム)
完成予定：2025年11月

【年末年始休業のお知らせ】

誠に勝手ながら、下記期間で休業いたします。

2024年12月28日(土)～2025年1月5日(日)

年明け1月6日(月)より、通常営業いたします。何卒、宜しくお願ひ申し上げます。

編集後記

・先月開催予定だったグループ会社対抗の「ZEN社一丸大運動会 第12回大会」は雨天の為中止となってしまいました。

夏前から入念に計画してきただけに非常に無念でなりません。開催に向けて準備をしてくださった運営委員と関わった多くの方々に感謝を申し上げ、来年はより一層、盛り上がる大会にしていきたいと思ひます。

(株)辰通信 Vol.297 発行日 2024年12月10日

編集人：本間夏来/土屋祐一郎 発行人：岩本健寿

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル 5F TEL:03-3486-1570

FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp

建築屋



「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーもPDFで掲載しています。スマホはこちらから →

